

# 都市みらい通信

## IFUD LETTER

Institute for Future Urban Development

平成15年10月

(財)都市みらい推進機構

まちづくり情報

・鹿児島市鹿児島駅周辺地区の再開発について

トピックス

・新たな発想による土地活用のアイデア募集！（第2回土地有効活用提案競技）

都市再生研究会活動レポート

都市みらいカレンダー

第19回評議員会開催結果

平成15年10月31日

まちづくり情報

当財団では、土地・水資源局が推進している土地利用転換調査を積極的に支援しておりますが、本件プロジェクトもこの一環として、私どもの財団が14年度に鹿児島市から調査受託したものです。本調査がプロジェクト進展に資する事を大いに期待しております。

(開発調査部 磯部)

### 鹿児島市鹿児島駅周辺地区の再開発について

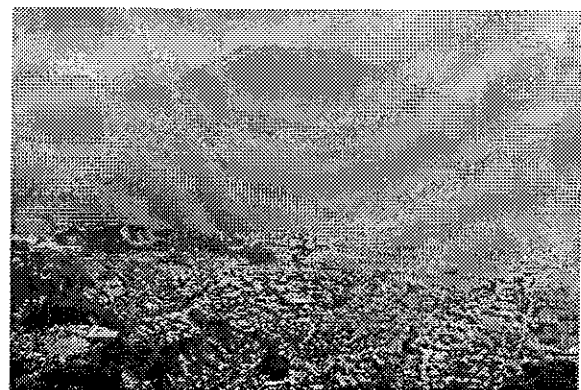
#### 1. 地区の概要

鹿児島駅周辺地区は、南九州の中核都市である鹿児島市の都心北部に位置し、眼前には雄大な桜島や波静かな錦江湾が広がる美しい眺望に恵まれた地区です。地区内には国鉄清算事業本部用地等の大規模低未利用地があり、これらを有効に活用することで「かごしま新拠点」を形成するために、都市基盤の整備や、新たな施設の導入についての調査検討を進めています。

当地区は、鹿児島市の都心部の一拠点として位置づけられ、鹿児島空港や市街地北部からの北の玄関口にあたり、隣接する鹿児島港本港区（桜島や種子島・屋久島、南西諸島などとの海を通した結節点）を含めて県内有数の交通要衝の地であります。また、鹿児島の城下町発祥の地であり、明治維新の脈動を今に伝える文化や歴史、桜島を望むウォーターフロント等の観光資源を豊富にもちます。更に、都心部における利便性の高い居住地としての性格も併せ持っており、都心ゾーン・歴史文化ゾーン・ウォーターフロントゾーンが結節する地区です。

現在、これらのポテンシャルを最大限に活し、周辺と一体化した地区再整備によるまちづくりを検討しています。

#### 対象地区と桜島を望む



## 2. まちづくりの方向性

駅を中心に、その周辺に散在する施設、史蹟、スポットとの回遊性と一体性を向上するために動線の強化を図り、これと合わせて地域に人が訪れる魅力を強化すること、また都心部への根強い住宅需要があることから都心居住を推進しコンパクトシティを実現する拠点の形成を図ること、の3点を基本に低未利用地等を活用しながら基盤整備や施設整備を検討しています。

〈基盤整備の考え方〉

- ・連続立体交差化事業（鉄道高架化）と土地区画整理事業の連携による交通渋滞の解消や駅周辺の一体的土地利用を促進。
- ・鹿児島港本港区との連続性を生み出すことで鉄道や船舶などの広域交通体系ネットワークを強化、また駅前広場にサブターミナルを整備し交通結節機能を強化。
- ・地区周辺の歴史・観光資源、医療機関等をつなぐ歩行者・自転車ネットワークを構築。

〈拠点となる公的施設の整備〉

地区周辺振興の起爆剤になるとともに、かごしま新拠点の新たな魅力を整備するために、国鉄清算事業本部用地の取得を予定しています。

導入する機能については、今後、具体的な検討を進めていくこととなりますが、その中で基本としなければならないことは、陸・海の交通結節点であることを活かして、多くの人の交流を生み出す機能、また、歴史、文化、眺望などの観光資源を活かした魅力を創出し、まちににぎわいを呼び戻す機能、そして都心部への居住回帰を促す観点から、利便性の高い生活をサポートする機能などであり、これらに配慮しながら検討していかねばならないと考えております。

## 3. 今後の課題

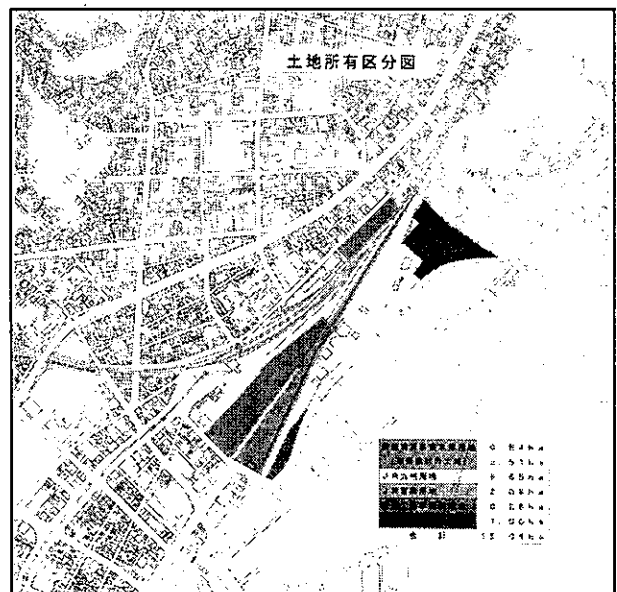
連続立体交差事業（県事業）や土地区画整理事業（市事業）の事業化のため各種調査を実施するとともに、JR九州を始めとする関係者や地域住民の方々との協議を通して、地区周辺の整備と機能導入について具体化させていく必要があると考えています。

（寄稿：鹿児島市建設局都市計画部 都市再開発課）

鹿児島駅周辺地区（航空写真）

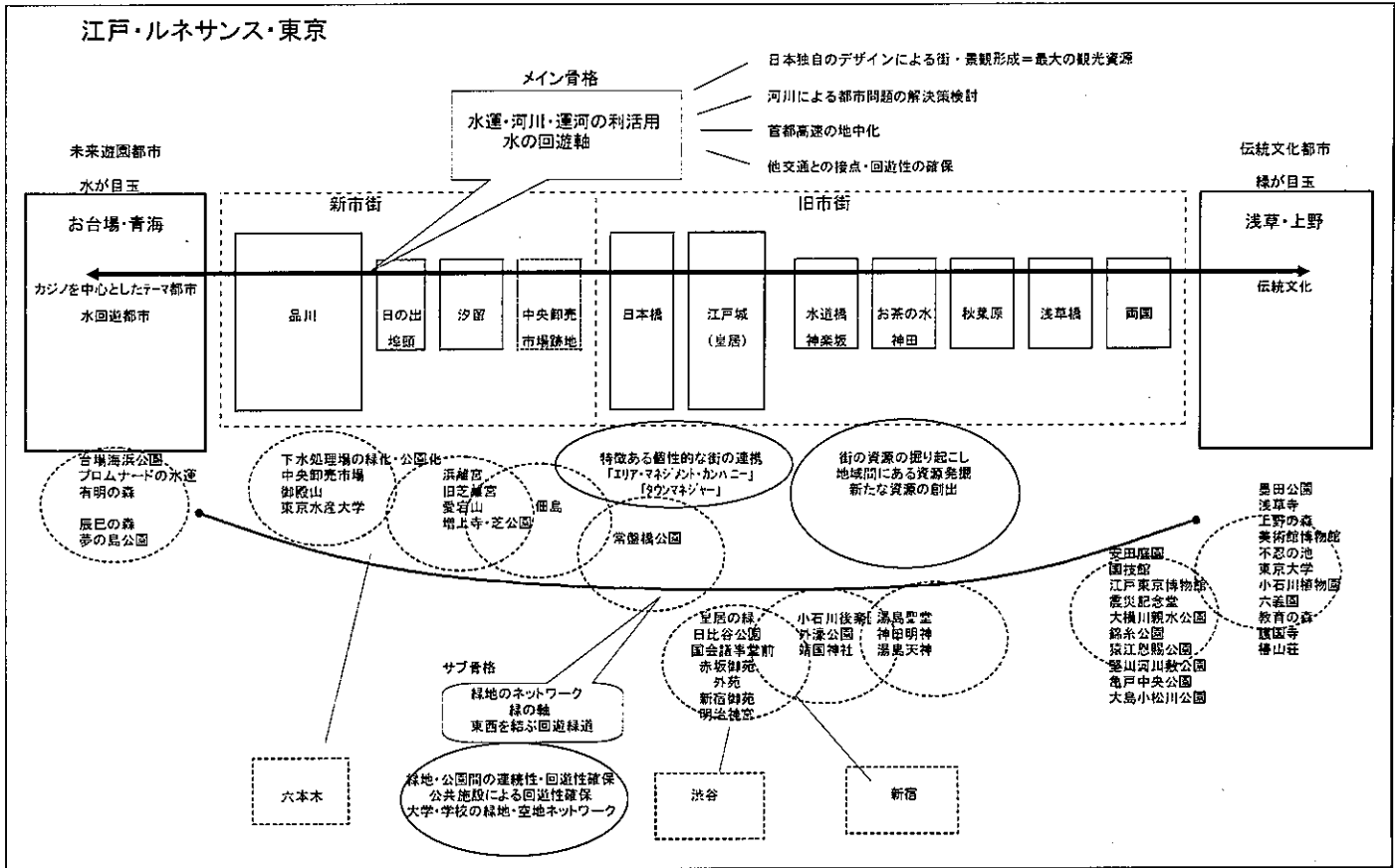


鹿児島駅周辺地区土地所有区分図  
（大規模低未利用地等）



■都市みらい推進機構の「都市再生研究会」(会員企業45社90名参加)は、自主研究の強み・特長を活かしたオリジナルの都市再生理念を創出し、大都市圏を対象とした都市再生モデルプランを構築、都市再生本部等や主要自治体に対する政策提言を目指して活動中。  
 ■7月31日付で「中間報告書」を発行。その後、都市再生本部、国土交通省、東京都産業労働局等との意見交換会を実施。アドバイス等をいただきながら後半の研究活動を進めています。(★お問合せ、「中間報告書」入手ご希望の方は、iwai@toshimirai.or.jp まで)

■第11回幹事会(平成15年10月3日開催)提示の「全体コンセプト試案」(作成:久松委員/D-WG 新日鉄都市開発)



■社会資本整備審議会都市計画・歴史的風土分科会 第5回都市計画部会 について

10月20日、第5回都市計画部会が開催され、「21世紀型都市再生ビジョン」について検討が行われました。  
 都市再生ビジョン(仮称)骨子の考え方は以下のとおりです。  
 「快適で美しい『生活・活動・交流空間』を取り戻し、新しい時代の変化を乗り切る21世紀型都市再生ビジョンの提案」

□4つの基本的方向

- ①安全・安心で持続可能(サステナブル)な都市の構築
- ②「良好な景観・緑」と「地域文化」に恵まれた『都市美空間』の創造
- ③都市の将来像実現に向けた官民協働による都市の総合マネジメント
- ④国際競争力の高い世界都市・個性と活力あふれる地方都市への再生

□政策展開の基本的視点

- ◇民間投資の活用
- ◇官・民・コミュニティのパートナーシップ
- ◇成果主義の都市政策

□10のアクションプラン

- ①歩行生活圏を中心とした全国都市再生
- ②大都市圏の国際競争力の向上
- ③まちの中心を再生させる民間投資の拡大
- ④戦略的な都市交通政策の展開
- ⑤住民主体の地域運営推進
- ⑥景観形成と緑の創出に向けた制度の構築
- ⑦都市観光の振興
- ⑧循環型都市構造の構築
- ⑨安全・安心な都市の構築
- ⑩政策課題に対応した今後の都市戦略

【出所:国土交通省都市・地域整備局企画課】

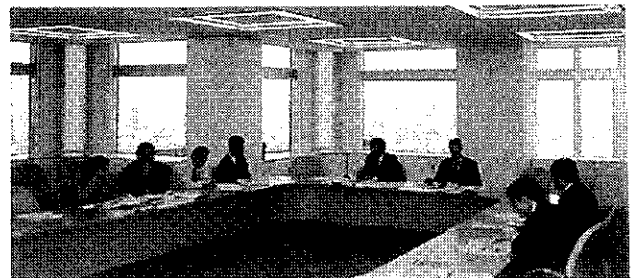
■都市再生研究会・D-WG勉強会(東京都・観光部)

10月23日、D-WGの活動の一環として、東京都の戦略的取組のひとつである観光政策について理解を深めるため勉強会(意見交換会)を開催しました。東京都産業労働局観光部から荒木副参事にご出席をいただき、あらかじめ用意した質問事項への回答を得たほか、活発な質疑応答を通じて、研究会ケーススタディ地域である東京臨海・台東浅草の仮説検証にとって有意義な場となりました。

■場 所:東京都庁第一庁本舎 33階特別会議室N1

■内 容:「観光まちづくりと都市再生について」

- 1.「観光まちづくり推進協議会」の検討状況と今後の展望(東京都・観光部)
- 2.ワーキンググループで検討したプロジェクト案について(都市再生研究会・D-WG)
- 3.質疑応答・フリーディスカッション
- 4.その他、都市再生・都市観光に関連する事項等



□トピックス

**新たな発想による土地活用のアイデア募集！（第2回土地有効活用提案競技）**

低・未利用地有効活用の促進を図るため、新たな発想による土地活用のアイデアを募る提案競技（コンペ）を実施します。

今年度は、城下町として栄えた川越市の中心市街地の土地を課題地に、導入する機能、施設内容にとどまらず、具体化するための方法や継続的に安定した施設運営を図る方法など自由な発想による新しい土地利用のあり方を示す、具体的な提案を募集します。課題地の場所性を読み込んだ歴史性を活かした提案、民間による公有地の有効活用方策の提案を期待しております。皆様の積極的なご応募をお待ちしております。

- 主 催 : 財団法人 都市みらい推進機構  
 後 援 : 国土交通省、日本政策投資銀行、都市基盤整備公団、地域振興整備公団、民間都市開発推進機構、川越市、川越商工会議所  
 課題地 : 埼玉県川越市新富町1丁目  
 登録受付 : 平成15年10月16日（木）～11月14日（金）  
 作品提出期間 : 平成16年1月16日（金）～1月30日（金）  
 募集要領の配布 : 当財団の窓口にて配布しています。また、ホームページにも掲載しておりますのでダウンロードしてご利用ください。  
 応募登録方法 : 募集要領に添付されている登録申込書・登録通知書に所定事項をご記入の上、郵送又は電子メールにて事務局までお申込みください。

土地有効活用提案競技事務局  
 財団法人都市みらい推進機構  
 稲岡、西尾、磯部  
 TEL : 03-5976-5860  
 E-mail : [t-compe@toshimirai.or.jp](mailto:t-compe@toshimirai.or.jp)

**都市みらいカレンダー**

\*印のある項目については、他ページに解説があります。

財団

月	日	項 目	備 考
10	3	都市再生研究会幹事会	
	7	土地利用調査WG会議	
	7	日英都市再生フォーラム	
	15	土地活用調査掛川地区検討会議	
	15	機関誌編集委員会	
	16	*新たな発想による土地活用のアイデア登録開始	
	17	沖縄県跡地利用調査WG会議	
	21	評議員会	
	27	土地月間講演会「低・未利用地の有効活用方策を考える」	
29	品川新拠点研究会プレ幹事会		
11	5	都市再生研究会幹事会	
	7	理事会	
	19	土地活用調査掛川地区検討会議	

インテリジェントシティ整備推進協議会

10	7	鎌倉市深沢地域まちづくり説明会	
	10	インテリジェントシティ推進に必要な新施策についての提言研究会	第2回
11	6	鎌倉市深沢地域IT化まちづくり研究会	第1回

地方の拠点まちづくり協議会

10	8	自主研究 「岐阜市福祉のまちづくり完成化方策検討調査」研究会	
11	上旬 下旬	自主研究 「岐阜市福祉のまちづくり完成化方策検討調査」研究会 連携セミナー	第2回 第1回

都市地下空間活用研究会

10	2 3 6, 15 20 22 24 30	中心市街地と地下街のあり方分科会 幹事会 大阪分科会 幹事会 八重洲・京橋・日本橋地区分科会 幹事会 中心市街地と地下街のあり方分科会 幹事会 中心市街地と地下街のあり方分科会 全体会 八重洲・京橋・日本橋地区分科会 幹事会 八重洲・京橋・日本橋地区分科会 検討会議	第26回 第1回
11	4	都市交通分科会 全体会	第11回

第19回評議員会開催結果

10月21日（火）財団会議室において、評議員会を開催。

○第19回評議員会結果

国土交通省増田大臣官房審議官（都市・地域整備局担当）ご臨席のもと、10月28日に任期満了を迎える役員の選任ほか以下の議題についてご審議いただき、いずれも原案の通り議決されました。

議題

- 議案 役員の選任について  
報告事項 平成15年度事業報告（中間報告）  
賛助会員状況

選任された新役員（役員の任期は、平成15年10月29日から平成18年6月15日まで）

- 理事（新任） 伊藤鷹一 ㈱大林組取締役東京建築事業部副事業部長  
同（再任） 岩本康男 大阪市計画調整局長  
同（新任） 岡水照磨 ㈱民間都市開発推進機構参与  
同（再任） 奥田 碩 ㈱日本経済団体連合会会長  
同（再任） 金子宣治 横浜市 都市計画局長  
同（再任） 木下瑞夫 ㈱都市みらい推進機構専務理事  
同（新任） 草野成郎 東京ガス㈱代表取締役副社長執行役員  
同（新任） 栗岡 威 三井住友海上火災保険㈱専務取締役専務執行役員 第一本部長  
同（再任） 小寺義信 みずほ信託銀行㈱ 常務取締役兼常務執行役員  
同（再任） 齋藤宏保 日本放送協会 解説主幹  
同（再任） 佐藤三千男 ㈱読売新聞社編集局次長  
同（新任） 重見憲明 JFE都市開発㈱代表取締役社長  
同（新任） 高木利武 東芝㈱執行役上席常務

- |        |      |                                     |
|--------|------|-------------------------------------|
| 同（再任）  | 田口 仁 | (株)都市みらい推進機構専務理事                    |
| 同（再任）  | 田中正章 | 都市基盤整備公団 理事                         |
| 同（再任）  | 土肥年正 | 日商岩井(株)執行役員<br>兼 建設都市開発カンパニープレジデント  |
| 同（再任）  | 西 建吾 | (株)都市計画協会 専務理事                      |
| 同（新任）  | 野嶋弘孝 | 独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構<br>国鉄清算事業本部理事 |
| 同（再任）  | 松原青美 | (株)民間都市開発推進機構理事長<br>(株)都市みらい推進機構理事長 |
| 同（新任）  | 松本正義 | 住友電気工業(株)専務取締役                      |
| 同（新任）  | 三木 修 | (株)東京三菱銀行公共法人部部長                    |
| 同（新任）  | 渡邊泰彦 | 三菱地所(株)代表取締役兼専務執行役員ビル事業本部長          |
| 監事（再任） | 伊賀俊昭 | 神戸市 都市計画総局長                         |
| 同（再任）  | 一色浩三 | 日本政策投資銀行 理事                         |
- (以上、理事22名、監事2名 五十音順)

### 人事異動のお知らせ

- (10月28日付) 【退任】 常務理事兼事務局長 福丸容吉  
 (10月29日付) 【新任】 常勤理事兼事務局長 岡水照磨

### あとがき

清々しい秋晴れの朝、狭苦しいマンションで1日過ごすのはもったいないということになり、我々平凡を絵に書いたような一家は、広々とした九十九里へ出かけることとなった。カーテンの隙間から差し込む新鮮な朝日に行楽の神経細胞が、敏感に反応してしまったのだ。

道中大した渋滞もなく、2時間足らずで目的地に到着した。大陸の高気圧におおわれ、適度な北東の風が心地よかった。このような条件のとき、私の今までの経験からスカイブルーの空とマリブルーの海が視界いっぱい広がるものと決まっていた。しかし、小高い丘をのぼって視界に広がったものは泥水色の海であった。私の想像していた九十九里は、無限の砂浜に広がる青い海だったのだが。

少しがっかりしてうなだれた時、足元の砂がまるで清流の川底を緩やかに浮流してゆくように見える。粒子の細かな時折きらきら光る砂が、さらさらとさらさらと風に流される様を生まれてはじめてみた。周辺をよく見ると、波模様ができています。これが風紋か。私の知っている玄海灘や日本海は砂の粒子が大きく、強風の際には砂が舞い上がり、それ以下のときには砂はほとんど動かない。これまで穏やかな砂の動きを見た記憶がない。私は九十九里に風と砂の絶妙なバランスで創造される芸術に秋の日の思い出をつくることができた。

開発調査部 磯部洋介

### 発行

財団法人 都市みらい推進機構

〒112-0013

東京都文京区音羽2-2-2 アベニュー音羽3階

TEL : 03 (5976) 5860

FAX : 03 (5976) 5858

[kikaku@toshimirai.or.jp](mailto:kikaku@toshimirai.or.jp)

<http://www.toshimirai.or.jp>